



## 公明党 高橋 亨 議員

- ①「住宅困窮者」の支援拡大について
- ②斎場のフル活用について
- ③がん対策について

**質問①** 地域優良賃貸住宅制度と本市の取り組みは。また、入居者募集回数の拡大は。

**答弁①** 現在、住生活基本計画の作成を考えており、今後の市営住宅の整備計画策定とあわせ地域優良賃貸住宅制度も検討したい。募集回数の拡大は検討し、管理運営が適正に行える範囲内において、柔軟な対応を考えたい。

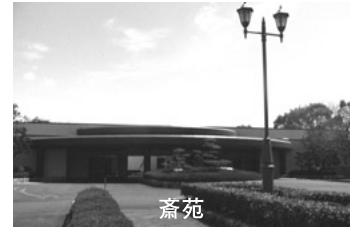
**質問②** セレモニーホールの利用状況と通夜葬儀の検討はどうか。また、指定管理者制度の方向は。

**答弁②** 利用状況は、ここ2～3年では毎年2～3件である。

通夜式を行うための業務形態の変更や施設の拡充にあたっては、地元住民の理解が必要であり、早急な施設設備の拡充や運営業務形態の拡大は、財源が必要とされ、困難であると考えている。また、指定管理者制度導入については、慎重な検証に努めながら住民サービスの向上とあわせて経費節減等を図る手段となればと考えている。

**質問③** がん予防の推進、がん検診の普及、緩和ケアの実施、がん診療連携病院と放射線治療の状況は。

**答弁③** 三重県の「がん対策戦略プラン」を基本にし、予防策や検診の普及啓発を図るとともに、早期発見、早期治療を促し、行政と医師、その他医療関係者との連携を深めたい。



斎場



## 緑風会 市川 哲夫 議員

- ①行政マネジメントについて

**質問①** 本市のマネジメント行政や補助金について基本的な考えは。NPO組織との関わりは。

**答弁①** 限られた財源を有効活用し市民ニーズに的確に応えるには、真に必要な事業の選択、重点化、コスト縮減等、歳出面での見直しと、歳入面での努力も重要である。したがって、市税収納率向上対策や特定財源の確保が事業量の確保につながるという意識に立ち、施設利用者等の受益者負担の適正化や見直し努力を求めている。今後は、歳入強化の一環として広告事業の実効性の検証、ルール

づくりなど導入に向けての調査・研究を進めたい。また補助金についても、単に補助金削減を目的とするのではなく、公平性・透明性の確保や評価を前提とし成果を確認できる仕組み等、新しい補助制度について検討したい。一方、公益的な団体と行政の関わりでは、対等なパートナーシップに基づく協働が重要であり、行政の公平性・一律性を重視した取り組みに対し、社会教育団体も含めたボランティアやNPO等の活動は、より個別的で柔軟な対応が可能で、新たな行政課題を発見し行政に対して提言したりすることができるのも、こうした団体の特質であると考えている。両者がそれぞれの特質を生かし、互いに連携・協力することにより、事業の効果が統一的でより幅の広い、きめ細やかなものとなると考えている。



## あくていぶ21 野間 芳実 議員

- ①介護予防について
- ②産業振興と観光振興について

**質問①** 本市の介護予防事業の現状と今後の施策は。

**答弁①** 介護予防事業については、実施している各法人により創意工夫、地域の実情にあわせて実施されており、また、一般高齢者介護予防事業として、本市の健康づくり課においても保健師等による介護予防につながる体操等を22の公民館で延べ44回実施しているほか、依頼のあった老人クラブに出向き健康体操等の教室を開催し、健康の維持増進を図っている。いずれにしても、高齢者の方が、住みなれた地域で自立した日

常生活を送っていただけるよう要支援、要介護となる前から介護予防事業を実施し、いつまでも元気に過ごしていただけるよう、努めることが大切であると認識している。

**質問②** 産業振興及び観光振興を促すには道路整備は不可欠と思うが今後の見通しは。

**答弁②** 交通網整備について、第二名神高速道路や中勢バイパスをはじめとする幹線道路は、本市の都市づくりにおける骨格軸となるばかりか、周辺都市との広域的な連携の強化にも繋がるものとして、最も重要な社会資本であると考えている。また安定した財政基盤の基となる産業活性化や観光振興を図る上においても幹線道路のネットワークの形成に対し、積極的に取り組んでいるところである。